

第35回 トライアスロン中島大会 募集要項

日 時

令和2年8月22日(土曜日)受付・前夜祭
23日(日曜日)10:30競技スタート

場 所

愛媛県松山市長師 姫ヶ浜他
(メイン会場：長師グラウンド)

競 技 内 容

- スイム… 1.5 km (1時間 20 分後コース閉鎖)
 - バイク… 40 km (3時間 00 分後コース閉鎖)
 - ラン… 10 km (4時間 00 分後コース閉鎖)
- 以上の3種目を続けて行う。

競 技 種 目

- 個人 スイム、バイク、ランを1人で行う。
- リレー 3人1組でスイム、バイク、ランをリレーする。男女は問わない。
監督は置かない。

参 加 資 格

平成12年8月22日以前に生まれた方(前夜祭当日、満20歳以上の方)で、スイム、バイク、ラン等の練習をし、完走できる自信がある方とする。

定 員

- 個人
 - ・前日受付※1 350名程度
 - ・当日受付※2 150名程度
- リレー
 - ・当日受付のみ※3 15組程度

- ※1 前日受付は、1泊2日(前夜祭含む)で参加できる方
- ※2 当日受付は、大会当日に会場入りされる方
- ※3 宿泊先を自身で手配できる場合は、前日の受付及び前夜祭(別途前夜祭代が必要)への参加が可能です。

注意事項

- ・ 宿泊施設の関係上、前日受付で申し込まれた方に当日受付をお願いする場合があります。
- ・ 当日受付は、後日送付されるバイクチェックシートの提出が必要です。

通 知

申込時の宿泊先希望状況を見て、実行委員会では審査・抽選により、前日受付、当日受付およびリレーの参加者を決定し、6月中旬頃までに、参加の可否にかかわらず通知します。

参 加 費

- 個人 一律一人 20,000円
- リレー 一組 36,000円
- 選手の家 族・応援の方 [前夜祭代]
 - 中学生以上一人 3,000円
 - 4歳～小学生一人 1,000円

※選手参加費には、レクリエーション傷害保険料を含む。
※支払方法は7月上旬に書面(請求書)にてお知らせします。
※地震・風水害・事件・事故・疾病等主催者の責によらない事由による開催縮小・中止の場合、参加料の返金はありません。

宿 泊 費

中島での宿泊先及び部屋割りについては、実行委員会が行いますので、希望する宿泊先ランク[ランクA～E]を申し込みの際にお知らせ下さい。

なお、申込者多数の場合は家族参加の場合でも相部屋となり、希望どおりにならない場合がありますのでご了承下さい。

《一泊一食(朝食)の料金です》

[Aランク] 旅館	中学生以上一人	5,500円
	4歳～小学生一人	2,500円
[Bランク] 民宿	中学生以上一人	4,000円
	4歳～小学生一人	2,500円
[Cランク] ホームステイ	中学生以上一人	3,500円
	4歳～小学生一人	1,500円
[Dランク] 公共施設	中学生以上一人	2,500円
	(小学生以下の方は不可)	

※Dランクは、下記の①～③にご留意下さい。

- ①入浴はシャワーのみです。
- ②朝食はバイキング方式です。
- ③施設の状況により利用できない場合があります。

[Eランク] 自分で手配(知人宅、車中、テントなど)

※Eランクの方で、朝食が必要な方は、メイン会場近くの施設“姫ヶ浜ビーチ”を斡旋します。

朝食券 一人 650円

表 彰

- 個人
 - 総合優勝(知事賞) 予定
 - 男子総合1～3位、女子総合1～3位、
 - 男子年代別1～3位 (20～29歳、30～39歳、40～49歳、50～59歳、60～69歳、70歳以上)
 - 女子年代別1～3位 (20～29歳、30～39歳、40～49歳、50歳以上)

● リレー

- 総合1～3位

※年代別表彰について

- ・ 他表彰と重複しないものとする。
- ・ 令和2年12月末時点の年齢を適用する。
- ・ スタート時のエントリー数が10名未満の場合は1位のみとする。

申込方法・申込期限

●申込方法

募集要項及び競技規則を必読の上、参加申込書を郵送、FAXまたはE-mailにて提出すること。

《留意事項》

E-mailで提出の場合は、松山市ホームページ上にある参加申込書の「Excel形式」を利用し、メールに添付して送信してください。

その際、ファイル名とメールの件名を「トライ申込(氏名)」として下さい。[例:トライ申込(松山太郎)]

後日受取確認のメールを送信します。1週間以内に確認メールが届かない場合は、必ず電話にて事務局までご連絡下さい。

●申込期限

令和2年4月30日(木) 17時00分【厳守】 ※郵送の場合は4月30日(木)の消印有効

●申込書提出及び問合せ先

トリアスロン中島大会事務局

〒791-4501 愛媛県松山市中島大浦1626番地 松山市役所 中島支所内

・TEL 089-997-1840(受付時間 平日8:30~16:30)

・FAX 089-997-1585

・E-mailアドレス trinakajima@city.matsuyama.ehime.jp

・松山市ホームページ <http://www.city.matsuyama.ehime.jp>

トリアスロン競技日程

8月22日(土)	○ 自転車車検・受付	12:00 ~ 16:00	受付会場(長師姫ヶ浜)
	○ コース下見(希望者)	16:00 ~ 16:40	バス停(長師県道) 出発
	○ 競技説明会の受付	17:00 ~ 17:30	中島小学校 体育館(長師)
	○ 競技説明会	17:30 ~ 18:00	〃
	注) 前日受付の方は、この競技説明会に必ず参加すること。		
	○ 開会式・前夜祭	18:30 ~ 20:00	中島中学校 体育館(長師)
※22日(土)のタイムスケジュールは、状況により変更となる場合があります。			
8月23日(日)	○ 受付(当日受付の方のみ)	7:40 ~ 8:20	受付会場(長師姫ヶ浜)
	○ 自転車セット	7:30 ~ 9:30	グラウンド(長師姫ヶ浜)
	○ 競技参加受付(最終登録)	9:00 ~ 10:00	スイムコース横(姫ヶ浜海水浴場)
	※当日受付の詳細なスケジュールは別途通知します。		
	○ スタート	10:30	スイム→バイク→ラン
	○ 競技終了	14:30	
○ 表彰式・閉会式	14:30 ~	グラウンド(長師姫ヶ浜)	

コース図



凡例

- 
スイムコース 1.5km
 コース間 0.375km×4(2往復)
- 
バイクコース 40.0km
 コース間 10.0km×4(2往復)
- 
ランコース 10.0km
 コース間 2.5km×4(2往復)



競技規則・総則

Rule

公益社団法人日本トライアスロン連合競技規則（JTUルール）と、同規則を基準としたローカルルール（トライアスロン中島ルール）を適用する。本規則に定めなき事案は関連競技団体の規則を準用する。

共通

1. 社会人として責任ある言動を心がけ、交通法規を守り一般車両や通行人を妨げない。競技中以外でもバイク乗車時は常にヘルメットを着用しなければならない。競技中、競技以外に関わらず、ゴミを投棄してはならない。
2. 競技中にチームメート、コーチ、家族など、選手個人の応援者から飲食物の提供や、直接的支援を受けることはできない。沿道に開設された地元応援者の私設エイドは支援を受けることができる。
3. 競技中に、携帯電話など通信機器および音楽プレーヤーなどを使用してはならない。ただし、携帯電話をスピードメーターのみに使用する場合はこれを認める。
4. スケジュール、競技規則、コースは選手自ら把握する。コースミスや事故、遅刻は選手の責務である。
5. 安全、公正な大会とするため競技説明会には必ず本人が参加する（リレールは、大会当日の朝3名全員が参加）。出欠を確認し、無断欠席者は競技に参加できない。
6. 適正なウェア、競技用具を使用する。フロントファスナーのウェアを暫定的に許可するが、ファスナーを閉めた状態で使用すること。危険と思われる用具、備品類を使用することはできない。
7. レースナンバー（ゼッケン）は、バイクでは背中、ランでは胸に、視認よく取り付け、変造を禁止する。レースナンバーベルトの使用を認める。ナンバーシールは、ヘルメット正面とバイクサドル下の左側に貼付する。ボディナンバーシールは原則として両腕上腕に貼る。
8. 各競技の周回数のカウントは選手自身が行うものとし、周回数満たない選手は失格とする。（周回数が多い場合は失格とはならない）
9. 選手は、大会当日朝に健康状態をチェックした、セルフチェック用紙を当日受付に提出しなければならない。酒気帯びや体調不良の状態での競技をする事はできない。
10. 競技力不足、疲労、事故、制限時間オーバー、違反などの理由により審判員から競技の停止、中止、指示された場合は必ず従う。自主棄権を含む競技中止の際には、付近の審判員に計測チップ（アンクルバンド）を返却する。
11. スケジュールや競技内容の変更、案内は公式掲示板（フィニッシュゲート周辺）への張り出しとアナウンスで行う。

スイム競技 1.5km (750m×2周)

1. コースはブイでつながれた往復750mの直線コースを2周する。スタートはウェーブスタートで行う。
2. ウェットスーツ着用義務とする。JTUルールに適合する、体にフィットしたウェットスーツを着用する。損傷のある物は使用できない。ラッシュガードなどをウェットスーツの代用として使用することはできない。
3. スイムウォームアップは10時00分から10時15分までとし、ライフセーバーの指示に従いスタート地点から当日設定された圏内の海域で行う。
4. コースロープ、ブイ、船、レスキューボードなどの浮体体に掴まっての小休止を認める。ただし、これらを利用して前進することはできない。
5. 救助を求める際は、片手を頭の上で大きくふり、大きな声で意思表示する。
6. 当日の海の状況や体調が不安な選手には、スイムをキャンセルしバイクからのスタート（スイムスキップ）を認める。希望者は10時30分のスタートフォーンのなる前までに大会本部又は審判に申し出る。その際にチケットを受け取る。以降のスキップは認めない。記録は参考としてリザルトに掲載するが順位は付かない。

トランジション

1. 競技中、トランジションには関係スタッフと選手しか入場できない。
2. 7時30分から9時30分の間に、バイクと用具をセッティングする。
3. 競技用品以外は設置できない。ただし他の選手を妨げない小型クーラーボックスを許可する。両サイド隣の選手との中間までを自分の範囲とし、はみ出して用具を設置してはならない。脱いだウェットスーツなど用具はきれいに片付け、通路などに放置してはならない。
4. バイクラックにバイクを掛ける方向は、バイクスタート時とバイク終了時は逆方向とする。スイムからバイクに移る時は、前輪を通路の方に向けサドルを掛けた状態からバイクをスタートする。バイクを終了しランに移る時は、前輪からバイクラックに入り（反転して後輪から入らない）サドルを掛ける。
5. トランジションでの乗車（片足乗車含む）を禁止する。
6. バイクスタートでは、ヘルメットをかぶりストラップを締めた後、ラックからバイクを下ろす。バイクフィニッシュでは、ラックにバイクを掛けた後、ストラップを外しヘルメットを脱ぐ。
7. バイクの乗車は、選手の片足が乗車ラインを越えた後に、完全に片足が地面についてから乗車しなければならない。バイク降車は、降車ライン手前の地面に、片足が完全に地面についてから降車しなければならない。
8. 競技終了後に、バイクと用具を引き取る事ができる。バイクに貼付のナンバーシールとボディナンバー・レースナンバー（ゼッケン）を照合して引き渡しを行う。

バイク競技 40km (20km×2周)

1. コースは、中島環状線を長師スタートにて吉木折り返しを2周する。
2. 自転車は、よく整備されたロードレーサー（TTバイク含む）マウンテンバイク、クロスバイクを使用する。ヘルメットは、バイク競技用の硬質ヘルメットを、その取扱説明書に従い、正しく着用する。ペットボトルを給水ボトルとして使用する時は、ペットボトル専用のボトルケージ・専用のボトルキャップで、緩みなく確実にホルドされた状態で使用する。

3. 自転車は、主催者が行う車検に合格したものでなければならない。但し、車検は自転車の安全性を保障するものではない。（当日受付の場合は、バイクショップが点検を行ったバイクチェックシートの提出により車検に変えるものとする。）
4. ドラフティング、ブロッキングを禁止する。
競技者ドラフトゾーン：前輪最前部を基点として後方7m、横幅3m
車両ドラフトゾーン：車両最前部を基点として後方35m、横幅5m
追い越し時、追い越され時のドラフトゾーン進入の時間：15秒以内
5. キープレフトを厳守しセンターラインを越えてはならない。特に遅い競技者は、コーナーにおいても左側走行を心がける。速い選手は、追い越しの際は、後方の安全を確かめ、前方選手に声を掛けて追い越しの意思を伝え、右側から追い越す。追い越しのリスクは常に追い越す側の責務である。キープレフト違反が集団走行の原因になることを理解し、各々のレベルに相応しい走行ラインを守る。
6. コーナーや側溝など、注意箇所の看板やコーン、スタッフなどを注視し、その指示に従い進行する。
7. 競技中においても緊急車両の通過を最優先し、審判員の指示に従う。スタッフ車両の通過に際してもその指示に従う。

ラン競技 10km (5km×2周)

1. コースは、中島環状線の長師からJAえひめ中央中島支所までの往復5kmを2周する。※交通規制は原則なし
2. キープレフトを遵守する。特に折り返し地点や環状線に出るまでの狭い道路は安全を最優先とし、無理な追い越しを行わない。
3. エイドを、一往復につき4カ所設置する。飲料は水を基本とする。
4. フィニッシュはサングラスを外し、レースナンバーを整え、応援者に伝える。
5. 同伴フィニッシュは、所定の待機場所により、スタッフの指示に従い、突起物や危険物を帯同せず、他の選手の競技に影響がないよう配慮して行う。

リレールール

1. 「1チーム3名・1名1種目」で男女混合チームを可とする。
2. 大会当日受付、競技説明会等の大会手続きはチーム全員が揃って行い全員がセルフチェック用紙を提出すること。
3. <スイム→バイク>
トランジション入り口付近に設けられたリレーゾーンで、スイム担当選手がバイク担当選手にアンクルバンドを引渡す事でリレーとする。バイク担当選手は、リレーゾーンでは素足で待機し、受け取ったアンクルバンドを足首に完全に装着した後に、リレーゾーンから出て、トランジションへ進む。バイクシューズ、グローブ、ヘルメット、などは、一般選手と同様にトランジションで装着する。
4. <バイク→ラン>
バイク担当選手は、バイクをバイクラックに掛けてヘルメットを脱いだ後、トランジションラン出口付近に設けられたリレーゾーンで、ラン担当選手にアンクルバンドを引渡す事でリレーとする。ラン担当選手は、ランシューズを履いた状態で待機し、受け取ったアンクルバンドを足首に完全に装着するまでは、リレーゾーンから出る事はできない。
5. <繰上げスタート>
前種目の担当選手が各関門時間に間に合わない場合は、繰上げスタートを行う。繰上げスタートは各関門時間にスタートするがDNF（記録を計測するが順位は付かない）となる。
6. <フィニッシュ>
ラン担当者以外の選手は、同伴フィニッシュ待機場所より、スタッフの指示に従い、他の選手の競技に影響がないよう配慮し、チーム揃ってのフィニッシュを推奨する。

罰則と抗議

1. アドバンテージを得ない違反、軽微な違反、あるいはショートカットやドラフティングなどアドバンテージを得る違反、あるいはスポーツマンシップに反する言動、危険行為など、違反の内容により相応のタイムペナルティを課す。
2. 違反者には程度により、ペナルティボックスにて15秒以上のタイムペナルティを課し、指導、警告を行う。ランコースのトランジション側折返し付近に、ペナルティボックスを設けて、違反者のレースナンバーを掲示する。選手は自身で掲示を確認し、フィニッシュするまでにペナルティボックスに入り、審判員の指示に従う。ペナルティボックスに入らず、フィニッシュした場合、失格とする。
3. 選手には抗議（JTUルール第12章）を行う権利がある。その裁定になお不服があるときは、上訴（第13章）、仲裁（第14章）を、順次行うことができる。（※JTUルール参照）

制限時間

1. スイム競技を10時30分よりウェーブスタートした後、各所に制限時間を設ける。
(1) スタート後1時間20分：スイムフィニッシュ（上陸地点）
(2) スタート後3時間00分：バイクフィニッシュ（降車ライン）
(3) スタート後4時間00分：全競技終了（総合フィニッシュ計測地点）
制限時間に関わらず、著しく大会の進行を妨げる場合は、競技の停止、中止を指示する場合がある。

競技の変更・中止

1. スイムの環境が整わない時は、以下の順に競技内容を変更する。
(1) スタート時間を10分繰り下げて、スイムを1周に短縮する。
(2) スタート時間を20分繰り下げて、第1種目をラン5kmに変更する。
2. その他のケースについては、安全を最優先に、競技内容の変更、中止を検討する。

■ 競技当日、風邪等有熱者及び具合の悪い人は、競技前に必ず医療部の医師の診断を受けること。